

# かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き

む や しょうがっこう  
撫養小学校

## やくそく

- ① 毎日自分が決めた場所・時間に机に向かう。
- ② 一日の家庭学習時間を決める。
- ③ 机の上には学習用具だけをのせる。
- ④ ものを食べながら勉強しない。
- ⑤ 次の日の学習の準備をする。



かていがくしゅうじかん

## 家庭学習時間のめやす

学 年	時 間
1 年	10分
2 年	20分
3 年	30分
4 年	40分
5 年	50分
6 年	60分



※ 日記帳やカードなどに、学習時間や内容などを記録していくと  
はげみになります。

## かぞく かた ねが ご家族の方をお願い

- ・ やることをやったら、「がんばったね。」とほめてあげてください。
- ・ 特に低学年のお子さんは、学習の様子を見守ってあげてください。

## 1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。
- すらすら読めるように練習しましょう。
- 練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードに読んだしるしを付けましょう。

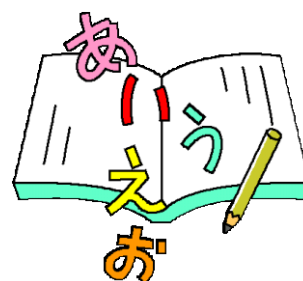


## 2 文字の練習

- 習ったひらがな・カタカナ，漢字を筆順に気をつけてノートに練習しましょう。
- ひらがなで，しりとりをしながら書いてみましょう。

## 3 日記・作文

- くっつきの「は」「へ」「を」使って文を作りましょう。  
例：「わたしは，うたをうたいました。」
- カタカナの言葉や漢字を使って文を作りましょう。  
例：「ぼくは，土をほってチューリップのきゅうこんをうえました。」
- 読んだことや楽しかったことを絵日記に書きましょう。
- お家の人や先生などに教えたことを文に書きましょう。
- 1文からはじめて，2文3文とふやしていきましょう。



## 4 読書

- 絵本やいろいろな種類の本を読みましょう。
- 読み終わったら、「読書のしおり」に書きましょう。

## 5 計算練習

- 10までの数を書く練習をしましょう。
- 合わせて10になる数を書きましょう。  
例：(2と8，6と4)
- 20より大きい数を10がいくつと1がいくつに分けましょう。
- たし算やひき算の練習をしましょう。



## 6 その他

- 家にある問題集をするのもいいですね。  
(答え合わせをして，まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

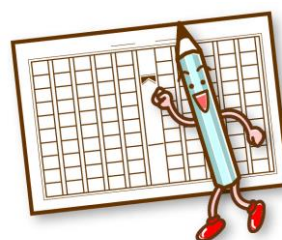
## 1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。  
（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）
- 練習したらおうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードに読んだしるしを付けましょう。



## 2 漢字の練習

- 習った漢字を筆順に気をつけてノートに練習しましょう。  
（読みがなもつけましょう。）
- 意味の分かる言葉で書きましょう。  
（「言」ではなく「言う」で練習）



## 3 日記・作文

- 習った漢字やかなを使って短い文を作りましょう。
- 思ったことや気づいたことを入れて遊んだことや楽しかったことを書きましょう。
- 「」を正しく使って会話文を入れた文を書きましょう。

## 4 読書

- 物語やいろいろな種類の本を読みましょう。
- 読み終わったら、「読書のしおり」に書きましょう。

## 5 計算練習

- たし算やひき算のひっ算の練習をしましょう。
- 九九の暗唱ができるように練習しましょう。
- 算数の問題を作ってみましょう。  
（たし算、ひき算、かけ算になる問題を作りましょう）



## 6 その他

- 家にある問題集をするのもいいですね。  
（答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。）
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

<国語>



1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。  
（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本をみながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。  
例：「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。  
例：「きへん」のつく言葉をノートに書く。  
「明るい」 ↔ 「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。  
調べたらノートに意味を書いておきましょう。

3 日記・作文

- その日の出来事や、考えたこと調べたことなどについて書きましょう。
- 題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。

4 読書

- いろいろな種類の本を読みましょう。
- 読み終わったら、「読書のしおり」に書きましょう。



5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文や言葉をかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。

## <算数>

### 1 教科書やドリルの問題

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。
- 同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります。
- 問題をといたら丸付けをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

### 2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

## <社会・理科>

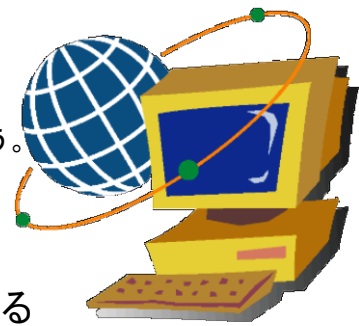
### 1 教科書を読む

- その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。

### 2 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と

思ったことを図鑑や事典・インターネットなどで調べる

- ノートに書いたり、〇〇新聞などにまとめたりする。



## <その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。  
(答え合わせをして、まちがったところはきちんと直しましょう。)
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。



<国語>

1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。  
（・漢字を正しく・気持ちをこめて・聞いている人に意味が分かるように）
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。



2 漢字の練習・意味調べ

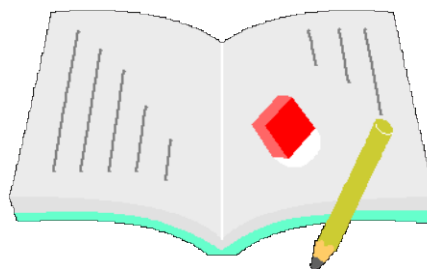
- 今までに勉強した漢字を習った漢字をノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本をみながら、「とめ」「はね」「はらい」に注意してていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。  
例：「算」という字なら「算数」「計算」のようなじゅく語や、「計算ドリルをする」のように短文で
- 反対の意味の言葉、「へんとつくり」などに気をつけて練習しましょう。  
例：「きへん」のつく言葉をノートに書く。  
「明るい」 ↔ 「暗い」のようにノートに書く。
- だまって書くのではなく、小さな声で読みながら書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。  
（調べる前に意味を予想してみるといいですよ。当たるかな？）  
調べたらノートに意味を書いておきましょう。

3 日記・作文

- 意味調べをした熟語を使って短文を作る。
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましょう。
- ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、意見文を書いてみましょう。  
（目にとまった新聞記事を切り抜いておくとよい）

4 読書

- いろいろな種類の本を読みましょう。
- 読み終わったら、「読書のしおり」に書きましょう。



5 視写

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。
- 文をかたまりごとに見て、一気に書き写しましょう。何度も見てはだめです。  
（慣れてきたら一回で見るかたまりを長くしていきましょう。書き写すのが早くなります。）

## <算数>

### 1 授業で勉強した内容（復習）

- その日に勉強したところの問題を，家でも練習しましょう。  
（同じ問題を何度も練習すると間違えないで早くできるようになります。）
- 教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。問題をといたら丸付けをしましょう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて，まちがえなくなるまでやり直しましょう。

### 2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を，もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は，何度もくり返し復習しましょう。



## <社会・理科>

### 1 授業で勉強した内容（復習）

- 大事なところに線を引きながら，教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

### 2 教科書の少し先の内容（予習）

- 声を出して教科書を読みましょう。
- 分からない内容や興味のあることを図鑑や事典・インターネットなどで調べましょう。

## <その他>

- 家にある問題集をするのもいいですね。  
（答え合わせをして，まちがったところはきちんと直しましょう。）
- 上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいことです。

